

1 秒量補正への試み

1. 研究の対象

2022年9月～2023年3月に当センターにて呼吸機能検査を行った69例

2. 研究目的・方法

意義：呼吸機能検査は周術期検査において重要な項目となっている。中でも1秒量は術前術後のリスク評価に欠かせない項目となっているが、努力に依存するため最大努力が得られない例では過小評価されるおそれがある。肺活量（VC）と努力性肺活量（FVC）の測定値の差から、1秒量が補正可能かを検証し、最大努力が困難な例での補正方法の提言を目的とする。

方法：検査で得られた肺活量、努力性肺活量および同時に測定される項目の比較を行う。①任意の吸気位で測定した値と最大努力により得られた値の差を検証する。②VC、FVCの差から補正係数を算出し、係数を乗じた値で検定を行う。

研究実施期間：2026年6月～2027年5月 1年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録、検査結果

4. 試料・情報の公開

得られた研究成果は学会・論文にて発表を予定しています。なお、公表を行う際は氏名や住所など個人が識別できる情報は削除して行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

埼玉県立がんセンター 検査技術部 技師 菅野 海希

電話：048-722-1111

研究責任者：埼玉県立がんセンター 検査技術部 副技師長 家城 正和